

第33回リバーフロント研究所研究発表会

企画グループ

令和7年9月26日(金)、東京ウィメンズプラザ(東京都渋谷区)にて「第33回リバーフロント研究所研究発表会」を開催しました。

本発表会は、当研究所の河川や湖沼、海岸などの水辺に関し、健全な水循環系の再生、災害に強靱な都市の形成、川を活かしたまちづくり、自然環境の保全と利用、河川生態の保全や再生、景観形成などに関する調査研究の成果を発表し、広く活用していただくことを目的に、年1回「リバーフロント研究所報告」の刊行にあわせて開催しています。

今回は33回目の開催となり、国土交通省や自治体関係者、学識者、研究機関や民間コンサルタントの関係者、ならびに当研究所のOB・OG等、140名あまりの方々にご参加いただき、活発な意見交換がなされました。

発表会には、来賓挨拶として国土交通省水管理・国土保全局河川環境課の島本和仁課長よりお言葉をいただき、神戸大学大学院人間発達環境学研究科の打田篤彦先生をお招きし、「社会・物理環境から位置づける私たちのwell-being」と題してご講演いただきました。その後、令和6年度当研究所で実施した研究成果から5題の発表を行いました。



島本課長の来賓挨拶



打田先生のご講演

また、当日の様子を録画したものを抜粋して令和7年10月30日(木)よりオンデマンド配信しておりますので、是非ご視聴ください。

(https://www.rfc.or.jp/ivent2025_hokokukai.html)

今回の発表内容を含めた令和6年度の調査研究の成果「リバーフロント研究所報告第36号」は、当研究所ウェブサイト「リバーフロント研究所報告」(<https://www.rfc.or.jp/book3.html>)にてダウンロードが可能ですので、是非ご活用下さい。

公益財団法人リバーフロント研究所は、皆様からいただいた様々なご意見を踏まえて、今後も河川・水辺、流域に係る諸問題の調査研究等を通じて社会への貢献に取り組んで参ります。

●プログラム(於：東京ウィメンズプラザ)

開会の挨拶 代表理事 塚原浩一

来賓の挨拶(敬称略)

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課長
島本和仁

基調講演(敬称略)

➢社会・物理環境から位置づける私たちのwell-being
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
助教 打田篤彦

研究発表

➢狩野川水系柿田川における在来水生植物の生育
ポテンシャルマップを用いた自然再生の検討と
実施

自然環境グループ 研究員 伊藤 岳
＜現 復建調査設計株式会社＞

➢境川かわまちづくり推進検討
～境川かわまちづくりの活動内容と現状評価～
水循環・まちづくり・防災グループ
研究員 仁田原汀

➢河川における自然環境の定量目標設定に関する
研究

自然環境グループ 主任研究員 白尾豪宏

➢河川水辺の国勢調査による順応的な河川環境管理
の提案～植生景観と指標植物～

自然環境グループ 研究員 鈴木敏弘

➢水辺の小さな自然再生の社会実装に向けた事例
研究

自然環境グループ 主任研究員 和田 彰

閉会の挨拶 業務執行役 内藤正彦



会場参加者との意見交換